

ProMED-mail情報 2019年 5月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介いたします。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	黄熱 ウガンダ	保健省は今月初め、北部のコボコ県と中央のマサカ県で黄熱の流行を公表。確定例は80歳女性と10歳女児で、ともに予防接種歴なし。黄疽はないが80歳女性には出血傾向。対策チームは疑い例7名の検体を採取。
29日	ジフテリア インド	10歳男児が22日に入院し、検査でジフテリア陽性。1月の21歳学生に続く今年2例目。男児は1期の接種を完了していたが、5歳時のDTワクチン追加接種は受けず。男児には抗ジフテリア毒素が用いられ、家族と接触者には10日間のエリスロマイシン予防投与とDTワクチンの接種を施行。
27日	ハンタウイルス感染症 米国(サンディエゴ)	フォールブルックの定期監視用トラップに捕獲されたシカネズミがハンタウイルス検査陽性。郡当局は、自宅やガレージなどでネズミを見つけても感染防護措置を取らぬまま掃除しないよう市民に注意喚起。居住区域に野生の齧歯類を近づけなければウイルスに暴露する可能性は低い。
26日	ウエストナイル熱 (ウマ) カナダ	アルバータ州でウマの感染率が上昇。感染すれば1/3が死亡するが、ワクチン接種で予防可能。2017年にカナダ全体で54例、アルバータ州で11例だったものが、昨年(2018年)は全国で123例、アルバータ州で72例と増加。
24日	クリミア・コンゴ 出血熱(CCHF) ナミビア	保健省がCCHF流行を宣言。15日現在、疑い7例中1例は検査で陽性。死亡は1例。ウイルスはダニ咬傷によって動物に感染し、その血液または組織との接触を介してヒトに感染。ヒト-ヒト感染も起こる。
12日	季節性インフルエンザ オーストラリア	国内ですでに4万例が確認。専門家らは冬のピーク時までには感染率が下降しなければ死者が4千人に達する恐れがあると警告し、ワクチン接種を呼びかけ。例年同時期の3倍の患者数。2018年の患者数は5万8千人。
11日	アフリカ豚コレラ (ASF) 香港	中国との境界に近い屠殺場でASFが発見され、香港は6,000頭のブタを処分。ASFと診断されたブタは中国広東省南部の農場からの輸入。生きた豚の中国本土から香港への流通は停止され、豚肉の価格が最大40%上昇。
9日	先天性ジカ症候群 (CZS) ブラジル	2016年4月～2018年7月の間で妊娠中、母体に発疹が見られた児108例の、生後18ヶ月までのCZSについて検査を施行。①母体のジカウイルス(ZIKV)陽性43例、②同陰性26例、③未検査39例。26人の児がCZSと診断され、①と③に同数分布。小頭症18例は①6例、③12例。14例(54%)の児に発達・運動神経系の異常が18ヶ月以上持続。18例(69%)にてんかんの症状。
8日	麻しん 日本	4月の22、24、26日に成田空港第2ターミナルを通過した旅行者で麻しんワクチン未接種の者は、かかりつけ医に相談するよう在日米軍がFacebookに投稿。感染した空港職員からウイルスに暴露した疑い。
5日	中東呼吸器症候群 サウジアラビア	本年4月26日からの9日間で新たに1例を確認。リヤド市の59歳男性でラクダとの接触歴は不明だが、一次感染と推測。以前に確認されていた2例については1例は死亡、1例は回復。今年の累計は確定137例(死亡率21.9%)。
2日	ジフテリア タイ	保健省のタイ疾病管理局によるとジフテリアの発生が昨年同期の2倍で、過去5年間の平均値。4月27日まで確診9例中2例が死亡。ウッタラディット、ターク、スラートターニー、ソクラー、サトゥーン、ヤラーの6県で発生し、最も発生率が高いのは5歳未満の小児、次いで10-19歳。
2日	ペスト モンゴル	4月後半に、西部のバヤン・ウルギー県で腺ペストに罹患したとみられる夫婦が死亡。予備検査の結果、死因は腺ペストである可能性が高い。
1日	A型肝炎 米国	フロリダ州全体で増加が続き4月22～28日で70例以上の報告。2019年の発生数は4月27日現在954例で、2018年は549例、2017年は276例。バージニア州でも同様に1週間で45例と昨年比132%の増加。ルイジアナ州ではこの流行で最初の死者。4月12日～26日までの2週間で27例増加して139例。